

東京の若者は、3割強が消費者トラブルに遭遇！

～若者の消費者被害に関する調査結果～

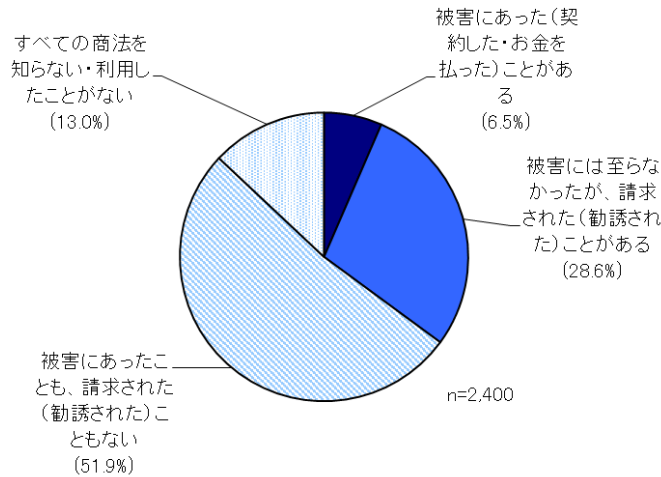
東京都では、若者の消費者被害の実態を把握し、今後の情報発信の参考とするため、都内在住の若者を対象に消費者被害の状況、情報発信、消費者教育等について調査を実施しました。その結果をお知らせします。

《調査の概要》

調査対象：都内に在住する18歳以上29歳以下の男女2,400人
調査期間：令和2年11月20日（金）から12月3日（木）まで
調査実施方法：WEB アンケート調査

若者の3割強が消費者トラブルに遭遇！

【4つの販売方法・商法の被害経験】<概要版P4、報告書P8>

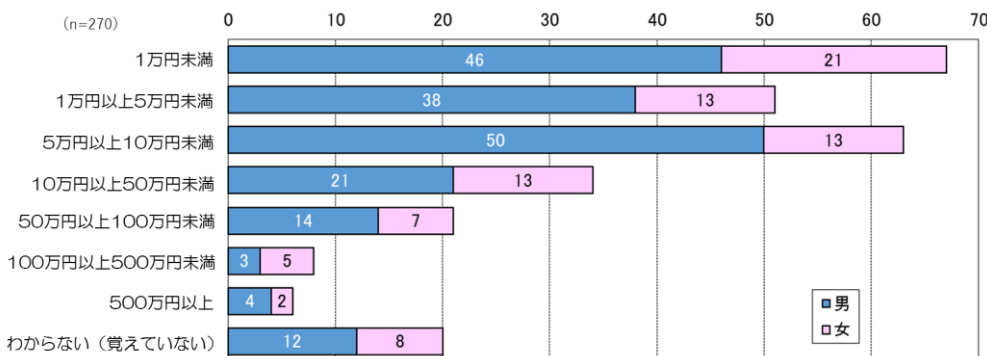


「インターネット通販」「架空請求・不当請求」「マルチ商法」「アポイントメントセールス」の4つの商法を挙げて被害にあったことがあるか聞いたところ、全体の6.5%が「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」と回答した。さらに、「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」が28.6%となっており、実際の被害にあった人と合わせると、35.1%が何らかの消費者トラブルに遭遇している。

100万以上の被害も発生！

実際の被害にあった人に被害金額を聞いたところ、10万円未満までの区分で全体の7割弱を占めており、最も多い回答は1万円未満である。一方で100万円以上の被害は14人発生しており、500万円以上の被害も発生している。

【4つの販売方法・商法による被害の金額】<概要版P5>



詳しくはこちらをご覧ください。



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>



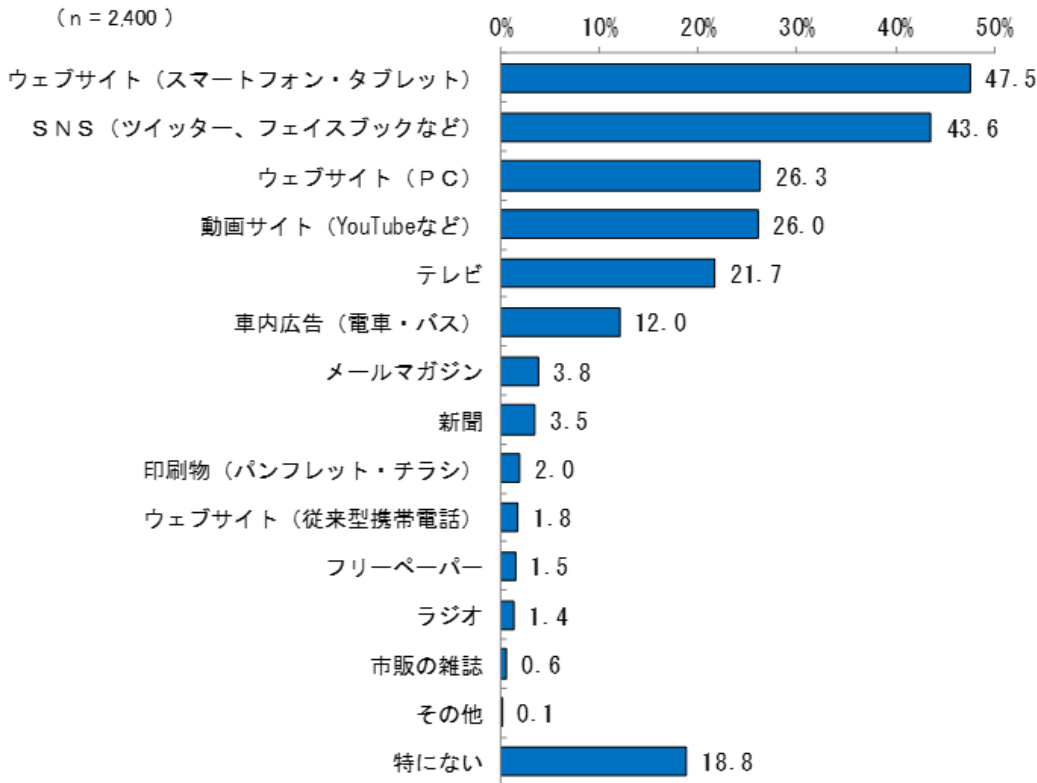
【問合せ先】

生活文化局消費生活部企画調整課
電話 03-5388-3076（直通）

注意喚起情報を入手しやすいと思うメディアはインターネット関連が上位

注意喚起情報を入手しやすいと思うメディアについては、「ウェブサイト（スマートフォン・タブレット）」と「SNS」が4割台と高く、「ウェブサイト（PC）」が26.3%、「動画サイト（YouTubeなど）」が26.0%とインターネット関連のメディアが上位を占めている。

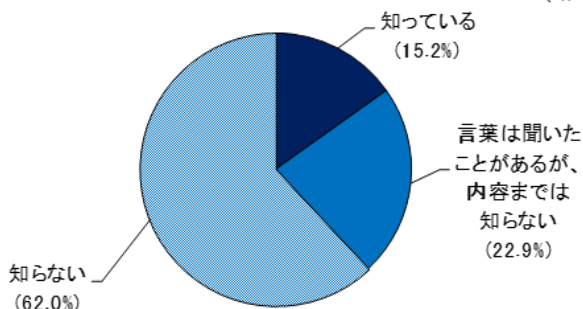
【消費者被害に関する注意喚起情報を入手しやすいと思うメディア】<概要版P7、報告書P62>



「エシカル消費」を知っているのは1割台半ば

【「エシカル消費」の認知】<概要版P7・P15、報告書P77>

(n = 2,400)



「エシカル消費」を知っているかについては、「知っている」が15.2%となっており、平成28年度（6.1%）に比べ、9.1ポイント増加している。

※エシカルとは「倫理的」という意味で、人や社会、環境に配慮した消費行動のことを「エシカル消費」という。

※調査結果の概要は、別添資料をご覧ください。

※調査結果報告書（全文）は、こちらを御覧ください。

⇒「東京暮らしWEB」 https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/chousa/chousa_etc/

